まき歯科新聞

歯は鉄より強し!?

第16号

〈毎月第３火曜日〉

※今月の第3火曜日は島原新聞が休刊日のため水曜日の掲載とさせていただきます。

台風が過ぎ、空がぐっと青く高くなった気がします。半袖と七分袖と長袖がタンスの中で入り乱れているのは、うちだけではないはず・・・(汗)

さてさて甥っ子がそろそろ一歳になります。我が家の女子チームに比べ、やっぱり男子はオモチャの扱い方がダイナミック☆そういえば、時折『子どものオモチャがぶつかって・・・』と歯がかけて慌ててこられるお母さんのお子さんは男の子が多いような・・・(笑)

ではここで問題です。歯と同じくらいの硬さのものは何でしょう?

①鉄 ②水晶 ③ダイヤモンド

正解は②の水晶です。硬さを10段階で表す『モース硬度』というものがあります。この硬度でいうと、硬度1はチョーク、硬度2は金、一見硬そうにみえる鉄は硬度4。人間の歯(エナメル質)や水晶は硬度7、ダイヤモンドが一番硬く、硬度10です。この硬度は引っ掻いた時の傷の付きにくさを指標としているので、硬いから何でも噛みきれるのとはちょっと違います。

しかし単に歯の質だけをみると、ナイフなどで傷がつくのが硬度4までといわれていますのでこんなに硬いものなのです。

そんなに硬い歯に穴をあけてしまうのが、むし歯菌の作り出す『酸』なのですが、では私たち歯医者は何をもってそんな硬い歯に挑むのか?歯医者に行くとキーンという音がきこえてきませんか?この音に寒気は感じても、心地よいと思われる人は少ない気がします。あの音の正体はタービンといわれる切削機器の音です。圧搾空気の力で1秒に30~50万回転するので、あのような音になるのです。そのタービンの先端にダイヤモンドの粉末がついた刃をつけて使います。

昔はこのタービンがなく、太悟先生の祖母の時代は足ふみポンプのようなものだったとか・・・。道具が進歩したようにいつかあの『キーン』という音が、優しいメロディにならないかしら?と思ったりするこの頃です。しかしあの音を聞かずにすむ一番の対策は歯みがきです☆

澄んだ秋空のような、気持ちのいいお口で、秋の味覚をたくさん楽しんでくださいね☆

健口から健康のお手伝い

まき歯科

院長 副島真紀

診療時間 月~金曜 10:00 ~ 12:30/14:00 ~ 20:00
土・祝日 10:00 ~ 14:00

診療科目 歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科
※訪問診療も行っております。

島原市上新丁 1-4158-1 あんしんハウス島原 1F TEL.64-5077